

## 進化する生徒 ～全力を尽くすことで幸福になる～

校長 西尾 英憲

「進化～日常から進化し続けることで全校403人が全力を尽くす体育大会」、これは生徒会による体育大会スローガンです。大会に向けての練習の姿に、「進化」を感じます。



1年生のあるクラスでは、昼休みの大縄練習の時間を確保するための作戦を考えました。「全員で配膳協力」です。その結果、「今日は配膳時間が7分台でできたので良かった。最近タイムが縮まってきたから続けていきたい。(日直日誌)」と、配膳時間を5分短縮し、練習時間を生み出すことに成功しています。課題を見出し、アイデアを出して仲間と克服していく姿がまさに進化です。以下は中間振り返りでの3年生の生徒の言葉です。

Aさん) 「僕は毎朝草取りボランティアに参加しています。なぜ参加しようと思ったかという、いつも一緒に登校するCさんが参加し始めたからです。最初は「めんどくさそうだな」くらいにしか思っていませんでした。しかし、草取りは友達と一緒にできて、やってみたら楽しかったので継続することができました。また、少しでも草が減ってきていると「やってよかったな」という気持ちになり、やりがいを感じました。それに体育大会の成功に環境づくりの面で少しでも貢献できていると思うようになりました。…」(男子)

Bさん) 「…私は体育大会に取り組みが始まるまでは、朝は何も考えることなくギリギリに登校していました。でも団長のDくんが、朝読書の項目が○になるように一生懸命仲間呼びかけている姿を見ると、「私も協力したい」「少しでも早く来よう」と思いました。…私の周りではたくさんの仲間が頑張っています。副団長のEさんは、いつもみんなのことを考えて行動してくれています。先週の黒板のメッセージを見て、さすがだなと思ったし、自分も頑張ろうと思いました。…」(女子)

Aさんのいう草取りボランティアは、生徒会提案による今回はじめての試み。Aさんは仲間と一緒に活動することで、「めんどくさそう」なことが「やりがい」に変化しました。また大会を支える環境づくりに目をむけ視野を広げています。Bさんは、仲間の声かけで時間の使い方を考えた行動に変化しました。また仲間の想いにふれることで、自らの「やる気スイッチ」を入れています。2人の文からは、仲間への感謝の気持ちが伝わってきます。

生徒の振り返りには、「みんなでやろう」「仲間のために力を発揮」「仲間の働きに感謝」「自分なりにチャレンジ」「プラスの声かけ」「常にポジティブ」と自らに求める言葉が並びます。これらは幸福で充実した生き方に必要なものです。生徒達は、体育大会の取り組みでこうした生き方を身に付けながら「進化」しています。大会当日、全力プレーで「進化」している姿に応援をお願いします。